

1. 2017 年度国内ダイカスト受注動向

I アルミニウムダイカストの受注動向（対前年同期重量比増減率）

II 亜鉛ダイカストの受注動向（対前年同期重量比増減率）

III マグネシウムダイカストの受注動向（対前年同期重量比増減率）

表1 2017 年度国内ダイカスト受注動向 アンケート結果

単位（％）

ダイカストの用途	I アルミニウム			II 亜鉛			III マグネシウム		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
1. 一般機械用	2.7	0.5	1.6	0.4	-0.2	0.1	-16.1	30.1	2.1
2. 電気機械用	0.3	0.4	0.4	6.5	-0.9	2.8	-3.4	-4.2	-3.8
3. 自動車用	4.3	1.5	2.9	-6.1	-3.9	-5.0	-9.2	-1.5	-5.3
4. 二輪自動車用	-4.9	-6.4	-5.7	-6.5	-6.1	-6.3	14.8	-5.2	1.5
5. その他用	4.2	-0.9	1.6	-1.0	-1.0	-1.0	-8.7	2.1	-3.4
6. 全体	4.1	1.3	2.7	-1.0	-1.7	-1.4	-3.9	-3.6	-3.7

＊）上期：本年4月～9月、下期：本年10月～来年3月、通期：本年4月～来年3月

（アンケート結果に対するコメント）

アンケート集計結果ではアルミニウムは上期・下期ともにプラスになった。特に上期の増加が大きいが、2016年度は地震災害や燃費不正問題により自動車の国内需要が落ち込んだことによる。2017年度は自動車の国内需要が通期でも前年並みと想定される一方で海外への完成車やユニットの輸出増加が見込まれることや、海外からの調達国内へ回帰するものも増えており、このような結果となったと推測する。

亜鉛・マグネについては一部用途で増加も見られるが、全体では引き続き減少が予想されている。